

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	牛之濱 久代
連絡先メールアドレス	hisayou@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部看護学科
略歴	1983年京都第一赤十字看護専門学校卒業 1987年東京大学医学部附属助産婦学校卒業 2000年鹿児島純心女子大学言語文化学部卒業 2002年九州大学人文科学府言語・文学（独文学）専攻修了 2016年広島大学大学院医歯薬保健学研究科看護学専攻単位取得満期退学
取得学位	文学修士
担当科目	【学部】母性看護学概論、母性看護学援助論、母性看護学方法論、母性看護学実習、家族看護学、看護教育学、研究方法論、卒業研究、地域ケアシステム実習 【大学院】成育看護学特論、成育看護学演習、健康支援科学通論
専門分野	母性看護学、助産学
所属学会	日本母性衛生学会 日本助産学会 日本母性看護学会 日本家族看護学会 日本子ども虐待防止学会
現在の研究テーマ	周産期母子支援 子ども虐待防止 ウィメンズヘルスケア
教育研究業績 (著書・学术论文等)	著書：『臨床助産師必携』 学术论文： ・すべての看護職が使える子ども虐待予防活動のためのアセスメント指標の開発と効果判定 第1報-A 県内における子ども虐待に対する看護職の認識の概要－ ・すべての看護職が使える子ども虐待予防活動のためのアセスメント指標の開発と効果判定 第2報-A 県内の看護職における子ども虐待のケア経験の違いによる虐待への姿勢と取り組みの現状－ ・A 県の周産期に関わる看護職の子ども虐待に対する認識及び対応の現状と課題 ・子ども虐待予防の先進的 B 地域における看護職の子ども虐待に対する認識とアセスメント ・子ども虐待に関する事例検討会の実践報告－参加者が捉え

	<p>た「気づき・学び」を中心にー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護系大学教員の子ども虐待に関する認識 ・子ども虐待事例検討会の実践報告ー関係機関・関係職種との連携に関する 現状と参加者の気づきに焦点をあててー ・学生の分娩介助の同意に関わる現状と産婦の思い ・学生の分娩介助に対する産婦の評価と課題 ・新型コロナウイルス感染症禍における母性看護学実習の工夫と課題(第1報)ー実習の概要と看護過程展開の実践報告ー ・新型コロナウイルス感染症禍における母性看護学実習の工夫と課題(第2報)ーシミュレーション演習の実践報告ー ・コロナ禍における実践活動の場以外で行う母性看護学実習の評価と課題：臨地実習経験者と未経験者との比較 ・熟練看護職者による養育不全あるいはその懸念のある母親へのかかわりの軌跡
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>2017 年度～2023 年度地域連携事業:長洲町総合母子支援事業思春期教室(性教育) 講師</p> <p>2019 年度 熊本県看護協会・熊本県助産師会合同交流研修会講師</p> <p>2021 年度 第11 回大牟田市立病院周産期研修会講師</p> <p>2022 年度～荒尾市自殺対策委員</p> <p>2023 年度 れんげ国際ボランティアテクニカルアドバイザーボード参画</p> <p>2023 年度 地域社会振興財団第506回現地研修会「発達の凸凹を理解して 伸ばすー保育士の視点から、生活の中でできる支援を考えるー」運営</p> <p>2023 年度 子ども虐待研修会「事例を通して学ぶ子どもの虐待防止と支援」企画・運営</p>